

# 新潟・福島豪雨災害

令和5年10月27日

公益財団法人 福島県都市公園・緑化センター  
理事長 猪股慶藏

## 甚大な被害のあった只見川流域は？



2

### 平成23年 新潟・福島豪雨

#### 被災した只見川流域とは？（地理的特性）

- 只見川とは、  
阿賀野川の最大支川  
流域面積：2,792km<sup>2</sup> 流路延長145km  
福島県西南端、一部が新潟県および群馬県に及ぶ  
源流は、国の天然記念物である尾瀬
- 気象特性  
約4mを越える積雪がある日本有数の豪雪地域

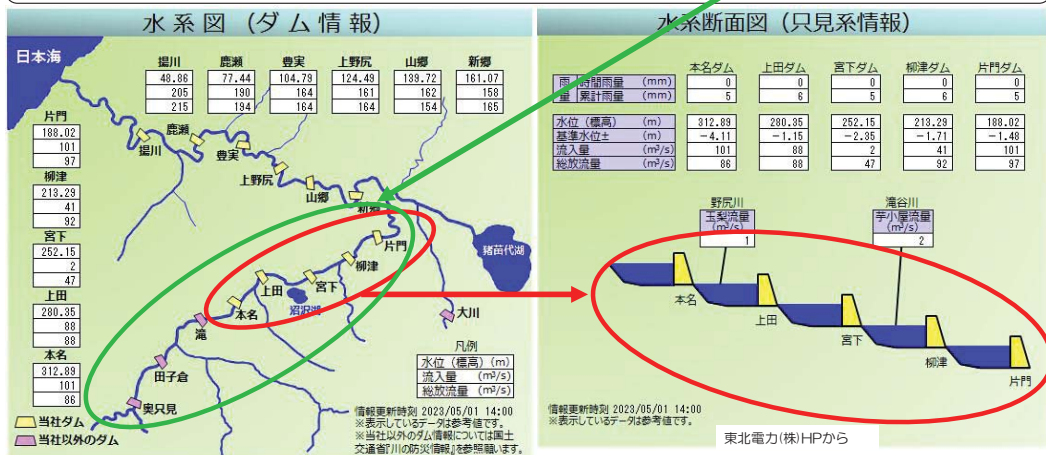
### 平成23年 新潟・福島豪雨

#### 被災した只見川流域とは？（市町村・人口等）

- 只見川流域には
  - ・2市6町3村（福島県、群馬県、新潟県）
  - ・只見川流域5町村で特に大きな被害  
柳津町、三島町、金山町、昭和村、只見町
- 人口及び高齢化率（令和4年8月1日現在）
 

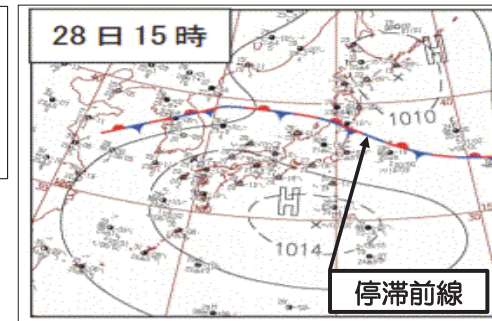
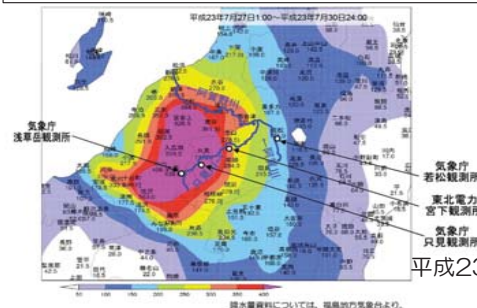
金山町	1,753人	(高齢化率61.9%)
昭和村	1,194人	( // 55.4%)
三島町	1,346人	( // 55.1%)
- ※福島県全体の高齢化率32.9%

只見川流域のダム群（奥只見～片門 8基の発電ダム）



“記録的な降水量”

- 平成23年7月27日～7月30日
- 新潟県と福島県会津を中心に大雨
- 時間雨量69.5mm、24時間雨量527.0mm
- 総雨量711mmを記録【観測史上1位】
- (気象庁只見観測所)



【被災状況】  
 国道252号  
 滝スノー  
 シェッド  
 滝ダム直下流  
 (金山町)



(郷土写真家 星賢孝氏提供)

【出水状況】  
 国道252号  
 二本木橋  
 (金山町)



(福島県会津若松建設事務所提供)

平成23年 新潟・福島豪雨

被災状況(アーチ部が落橋)



国道252号  
二本木橋  
(金山町)

(福島県会津若松建設事務所提供)

平成23年 新潟・福島豪雨

【復旧状況】  
国道252号  
二本木橋  
金山町



(福島県会津若松建設事務所提供)

平成23年 新潟・福島豪雨

【被災状況】  
只見川  
本名ダム直下流  
(金山町)

出水時の状況  
(福島県土木部提供)



JR只見線  
第6橋梁  
流出状況



平成23年 新潟・福島豪雨

【出水状況】  
只見川  
会津川口駅  
下流部  
(金山町)

JR只見線  
会津川口駅



(郷土写真家 星賢孝氏提供)

平成23年 新潟・福島豪雨

【出水状況】  
只見川  
上田ダム  
(金山町)



(郷土写真家 星賢孝氏提供)

平成23年 新潟・福島豪雨

【出水状況】  
只見川  
上田ダム下流  
(金山町)



(会津若松建設事務所提供)

平成23年 新潟・福島豪雨

【出水状況】  
只見川  
宮下ダム  
(三島町)



(郷土写真家 星賢孝氏提供)

平成23年 新潟・福島豪雨

JR只見線桥梁の被災及び復旧状況





出水時の状況  
(福島県土木部提供)

第5只見川橋梁  
(会津川口駅～本名駅間)

(福島県只見線再開準備室提供)



被災状況 2011.8.24撮影



復旧状況 2020.9.17撮影

被害の概況

●公共土木施設の被害報告額 141億円 (354カ所)

●主な被害箇所

- ・二本木橋が落橋 (国道252号金山町横田地内)
- ・2町道橋が落橋 (金山町 西部橋、田沢橋)
- ・只見川、阿賀川などで護岸崩壊

※ほか、JR只見線 会津川口駅～只見駅間が不通など



只見川  
本名ダム  
直下流  
堤防崩落  
(金山町)

被災から応急復旧までの対応  
(福島県土木部提供)



国道252号  
道路崩落  
(柳津町  
飯谷地内)

【応急工事実施状況】  
大型土のう(H23.10下旬完了)



至 会津若松

【浸水状況】金山町 西谷地区



国道252号

至る会津若松

(福島県災害対策課提供)

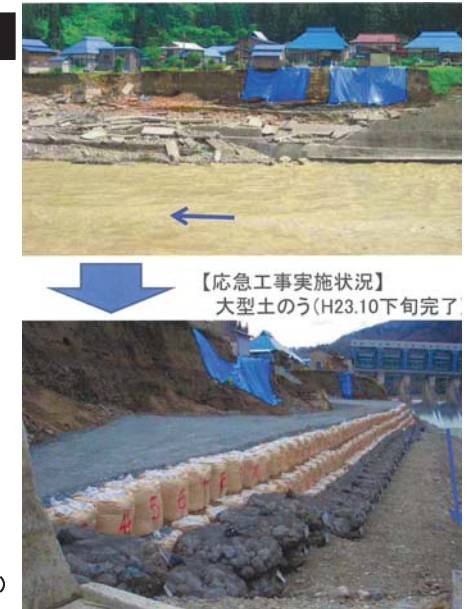
【浸水後、及び応急復旧の状況】  
国道252号（金山町 西谷地区）



(福島県会津若松建設事務所提供)

至 会津若松

【応急復旧状況】  
（金山町）  
上田ダム下流右岸



【応急工事実施状況】  
大型土のう(H23.10下旬完了)

(福島県会津若松建設事務所提供)

宮下土木事務所管内の建設企業の状況

建設企業（福島県建設業協会宮下支部会員数と従業員数）推移  
平成10年度から21年度で11社→6社に激減



包括的維持管理業務委託の概要

【従来の契約方法】

- ・道路維持補修業務委託
- ・除雪業務
- ・舗装修繕業務委託
- ・河川維持管理委託
- ・砂防施設維持管理委託
- ・異常気象時のパトロール、施設点検など

【包括的維持管理】

宮下土木事務所管内の維持管理業務を

- ・まとめて発注
- ・契約期間は、当初は1年間、現在は、2カ年分

↓

- ◎受注側の経営安定
- ◎災害発生時の速やかな対応、地域内の被災状況に応じた柔軟な対応が可能に

町村毎・半年毎に単独発注

【現在の状況】

- 災害復旧は完了
- JR只見線は令和4年10月再開通
- 只見川の改修事業はごく一部の地区が完了  
計画全体の完了までには今後も相当期間を要する
- 国道252号の本名バイパス完成（R4. 1. 20）
- 国道401号博士トンネル（L = 4. 5 km）  
（R5. 9. 10）

【今後に向けた課題】

- 地域の一層の高齢化（金山町62%）、人口減少
- 只見川の整備計画全体完了まで今後も相当期間要す
- 厳しい地理的条件（地形と豪雪地域）を踏まえ、  
網密度が低い幹線道路の一層の整備が必要
- 災害に備えた関係機関（地域住民、自治体、発電事業者など）の日頃からの一層の連携強化

まとめ 『中山間地域における今後の災害に備えて！』

- 応急対応への備え  
地域の対応力をできる限り強化しておくこと  
そのために、行政だけではなく、市町村や建設関係  
団体、地域住民と一体で備えること
- 恒久対策の立案  
大規模災害が発生した場合は、できる限り、将来を  
見据えた復興計画を立案、実施すること